

2022年12月14日

各位

株式会社クシム  
代表取締役社長 中川 博貴  
(証券コード:2345 東証スタンダード市場)  
(お問い合わせ先)取締役CFO 伊藤 大介  
電話03-6427-7380

特別損失及び繰延税金資産の計上  
並びに業績予想と実績値との差異及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年10月期の連結決算（2021年11月1日～2022年10月31日）において、特別損失及び繰延税金資産の計上を行うとともに、2022年6月14日に公表しておりました2022年10月期の連結業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）と本日公表の実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、配当予想を修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社が保有する投資有価証券1銘柄につきまして、帳簿価額に比べて実質価額が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損として64百万円を特別損失に計上いたします。

2. 繰延税金資産の計上について

当社連結子会社であるチューリング株式会社（以下、「チューリング」といいます。）の当連結会計期間における業績及び今後の業績見通し等を踏まえて、チューリングを含む連結納税制度を適用している企業グループの繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上し、法人税等調整額（連結）を△113百万円（△は利益）計上することといたしました。

### 3. 2022年10月期連結業績予想との差異について

#### (1) 内容

(2021年11月1日～2022年10月31日)

	売上高	EBITDA <sup>※1</sup>	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	1,998	436	191	200	514	40.35
今回修正予想 (B)	1,616	441	199	193	753	59.05
増減額 (B - A)	▲381	5	8	▲7	238	-
増減率 (%)	▲19.1	1.3	4.1	▲3.5	46.3	-
(ご参考) 前期実績 (2021年10月期)	1,621	△39	△134	△114	△362	△49.72

※1・・・EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

#### (2) 差異が生じた理由

売上高及び営業利益につきましては、チューリングが関わる暗号資産開発及びIE0コンサルティングによる価値向上プロジェクトラインのうち、売上規模に対して高利益率であるSKEBコインのプロジェクトが予定よりも早くIE0の実現に至ったことにより、全社一丸となって本プロジェクトに取り組み、リソース配分を本プロジェクト中心に切り替えました。このような取組みが奏功し、売上高は381百万円下回る結果となる一方、EBITDA及び営業利益は従来予想数値を上回る結果となったこと等によります。経常利益につきましては、営業外費用として計上した暗号資産の価格低迷による活発な市場が存在しない暗号資産の売却損の蓄積の影響を受けたこと等により従来予測を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、従来予想を238百万円上回る結果となる結果となりました。これは、当社グループの暗号資産売上による売却損益、評価損益の合計が従来予想よりも上回ったこと、上述の特別損失の計上、並びに上述の法人税等調整額の計上を含む税金費用が従来予想よりも244百万円下回ったこと等によります。

### 4. 配当予想の修正について

#### (1) 配当予想の修正

期準日	1株あたり配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2022年9月14日公表)	-	-	-

今回修正予想	-	0.00 円	0.00 円
前期実績 (2021 年 10 月期)	0.00 円	0.00 円	0.00 円

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、財務基盤の強化及び今後の持続的成長のための内部留保の充実を図りつつ、経営成績及び財務状態を勘案し、適切な利益還元策を検討し実施する必要があると考えております。

2022年10月期は、中期経営計画の達成を見据え、Eラーニング事業の譲渡、連結子会社の増加等による大胆な事業ポートフォリオの組み替えに着手して参りました。一方、当社を取り巻く経営環境を踏まえ、今後の安定的なキャッシュフロー経営のために内部留保の充実を図ることが最重要課題であると考え、現状の業績数値や今後の業績見通しを総合的に勘案し、誠に遺憾ながら無配といたします。

(注) 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上